

Hiroyuki Ohsaki:
[名前]はメタ変数をあらわします。適切な内容で置き換えてください。

[研究タイトル]

Hiroyuki Ohsaki:
これ以降のスライドに、研究テーマの概要をまとめます。毎回、ミーティング資料に付録としてつけるようにします。これは、自分自身が研究の方向性を見失わないようにすること、先輩や指導者にすぐに研究テーマを説明できるようにするのが目的です。

[発表者氏名]
大阪大学
大学院情報科学研究科
情報ネットワーク専攻

1 2005/??/?? [研究会名称]

[研究タイプ]

すべてのページで「書式」「スライドのレイアウト」を実行する

- 本文中で、数式、図、表は、論文のもの(もしあれば)そのまま使う

Hiroyuki Ohsaki:
研究目的の概要を一枚のボンチ絵(図解のマンガ)で説明します。クリップアートなどを用いて、分かりやすい絵(図ではなく)を描きましょう。

Hiroyuki Ohsaki:
提案方式の概要(=細かい内容)を説明するのは、そもそも何をしたいのか? その結果どんなメリットがあるのか? (=大まかな内容)を説明します。

Hiroyuki Ohsaki:
一般の人(ネットワークを専門としない人)にも分かるように、平易な表現を使って説明します。できるだけ専門用語は使わないようにしましょう。

論文のPDFを拡大してコピーする

2 2005/??/?? [研究会名称]

書式設定してあるのでこれらをコピーして使う

スライド全体の補足説明にはテキストボックスを使う

研究の背景・動機 (なぜ研究を行う必要があるのか?)

- [背景・動機概要]
 - [背景・動機詳細]
- [背景・動機概要]
 - [背景・動機詳細]

背景白、線自動 0.75pt、文字 22pt にする

Hiroyuki Ohsaki:
ここでは、研究の背景・動機を説明するボンチ絵(図解のマンガ)を入れます

特定の部分の補足説明には四角形吹き出しを使う

改行はRETURN(改段落)ではなく、SHIFT+RETURN(改行)で

Hiroyuki Ohsaki:
着想に至った背景および動機を説明します。現在、どんな問題があるのか、なぜそれを解決する必要があるのかを説明します。

3 2005/??/?? [研究会名称]

研究の目的 (何を、どこまで明らかにするのか?)

- [目的概要]
 - [目的詳細]
- [目的概要]
 - [目的詳細]

Hiroyuki Ohsaki:
「目的」と「手法」を混同ないようにしましょう。ここに「手法」に関する内容を説明してはいけません。「目的」は「手法」に関係なく決まるものです。「目的」が定まった後に、始めて「手法」が決まります。

Hiroyuki Ohsaki:
ここでは、研究の目的を説明するボンチ絵(図解のマンガ)を入れます

Hiroyuki Ohsaki:
研究期間内に、何をどこまで明らかにしたいのかを説明します。研究実施期間を明記します。研究期間中に完了できないもの(今回の対象外のもの)はそのように明記します。「目的」詳細には達成できたか検証できるような、具体的な目的を書きましょう。

4 2005/??/?? [研究会名称]

核となるアイデア (どの部分に、どんな独創性があるのか?)

- [アイデア概要]
 - [アイデア詳細]
- [アイデア概要]
 - [アイデア詳細]

Hiroyuki Ohsaki:
「アイデア」と「手法」を混同ないようにしましょう。ここに「手法」に関する内容を説明してはいけません。「アイデア」があって、その後に、始めて「手法」が決まります。

Hiroyuki Ohsaki:
ここでは、核となるアイデアを説明するボンチ絵(図解のマンガ)を入れます

Hiroyuki Ohsaki:
従来の研究と比較して、どの部分に新規性や独創性があるのかを説明します。関連研究もここで(簡単に)紹介します。関連研究を並べるのではなく、どこに独創性があるのかを明記しましょう。

5 2005/??/?? [研究会名称]

解決のための手法 (どのように目的を達成するのか?)

- [解決手法概要]
 - [解決手法詳細]
- [解決手法概要]
 - [解決手法詳細]

Hiroyuki Ohsaki:
ここでは、解決のための手法を説明するボンチ絵(図解のマンガ)を入れます

Hiroyuki Ohsaki:
アイデアを実現するために、どのような研究手法を取るのかを、具体的に説明します。その手法を用いる理由(妥当性、有効性)もあわせて説明します。

6 2005/??/?? [研究会名称]

予想される問題 (どんな困難があるか？研究の限界は？)

- [予想される問題概要]
 - [予想される問題詳細]
- [予想される問題概要]
 - [予想される問題詳細]

Hiroyuki Ohsaki:
 ここには、予想される問題を説明するボンチ絵(図解のマンガ)を入れます

Hiroyuki Ohsaki:
 「研究の目的」に示した研究の範囲内で、どのような問題や困難が予想されるかを説明します。本人の能力(文章力、プログラミング能力など)に起因する問題ではなく、解決したい問題そのものの困難さに起因する問題を説明します。

[研究会名称]

2005/??/??

研究成果の意義 (いつ誰にどんな利益が？他への応用は？)

- [研究成果の意義概要]
 - [研究成果の意義詳細]
- [研究成果の意義概要]
 - [研究成果の意義詳細]

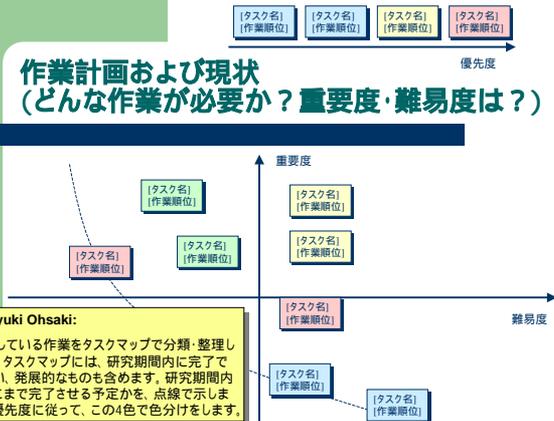
Hiroyuki Ohsaki:
 ここには、研究成果の意義を説明するボンチ絵(図解のマンガ)を入れます

Hiroyuki Ohsaki:
 研究成果が、いつ、誰に、どの程度、どんなメリットがあるのかを、その理由とともに説明します。どんな社会的波及効果があるか？また、その研究成果を利用した応用に、どのようなものが考えられるか？を説明します。

[研究会名称]

2005/??/??

作業計画および現状 (どんな作業が必要か？重要度・難易度は？)



Hiroyuki Ohsaki:
 想定している作業をタスクマップで分類・整理します。タスクマップには、研究期間内に完了できない、発展的なものも含めます。研究期間内でどこまで完了させる予定かを、点線で示します。優先度に従って、この4色で色分けをします。

[研究会名称]

2005/??/??

現在までの研究成果 (どこまで明らかにしたか？新たな問題は？)

- [現在までの成果概要]
 - [現在までの成果詳細]
- [現在までの成果概要]
 - [現在までの成果詳細]

Hiroyuki Ohsaki:
 ここには、現在までの研究成果を説明する図を入れます。提案方式の概要、結果のグラフなどがいいでしょう。

Hiroyuki Ohsaki:
 現在までに、どんな成果や知見が得られたかを、結果のグラフ等も含めて説明します。それにより、新たに発生した問題や解決すべき点があればそれも説明します。

[研究会名称]

2005/??/??

スライド作成前にすること

- フォントサイズの自動調整を解除
 - Office 2000の場合、「ツール」「オプション」「編集」「テキストをプレースフォルダに自動的に収める」のチェックを外す
 - Office XPの場合、「ツール」「オートコレクト」「テキストをプレースフォルダに自動的に収める」のチェックを外す

Hiroyuki Ohsaki:
 このページは発表練習のハンドアウトに含める

チェックリスト(スライド作成)

- 研究の目的やアイデアを書いたか？
- 研究の背景や研究成果のメリットを書いたか？
- 聴衆を想定して、それに合わせた発表内容にしたか？
- もととなる論文と同じ表現を使ったか？
- 1枚のスライドはすべて8行以下に収めたか？
- 1文はすべて1行に収めたか？
- 使用している色相は3種類以下か？
- 句読点の使い方を統一したか？
- スライドの枚数が発表時間(分単位)以下か？

チェックリスト (テンプレート利用)

- タイトルに所属・氏名・日時を書いたか？
- スライドの右下もしくは左下にページ番号があるか？
- スライドの背景と文字のコントラストは大きいか？
- 文字はすべて24ポイントにしたか？
- テキストボックス/吹き出しは22ポイントにしたか？
- フォントの種類をMS P ゴシック/Tahoma に統一したか？

チェックリスト (発表練習)

- スライドの内容と説明する内容が一致していたか？
- スライド間のつながりが分かるように説明したか？
- コメントや質問のメモを取ったか？
- スクリーンではなく、聴衆に向けて説明したか？
- 発表中に体や手が動いていなかったか？
- 「あー……」「えー……」などを最小限に抑えたか？

参考文献 (1)

- 「論文のアウトライン作成のための 100 のヒント」
 - <http://www.ispl.jp/~oosaki/research/tips-outline/>
- 充実した大学院生活のための 100 のヒント
 - <http://www.ispl.jp/~oosaki/research/100-tips/>
- 充実した論文発表のための 100 のヒント
 - <http://www.ispl.jp/~oosaki/research/100-tips-local/>
- 正しい技術文章作成のための 100 のヒント
 - <http://www.ispl.jp/~oosaki/research/tips-japanese/>

参考文献 (2)

- Using Emacs's outline-mode for writing a paper outline/draft and presentation slides
 - <http://www.ispl.jp/~oosaki/research/linux-tips/outline/>
- Converting from PostScript to EWM (Enhanced Windows Metafile) using pstodit
 - <http://www.ispl.jp/~oosaki/research/linux-tips/eps2wmf/>